Syo-Rin No.100

シリーズ柏心寺 Vol.3

「地蔵菩薩」

境内参道「延命地蔵尊」

前回に引き続き、柏心寺を彩る様々な物をご紹介してまいります。

第三回は「地蔵菩薩像」です。柏心寺境内に配置された地蔵菩薩は、山門左手の「六地蔵」、駐車場正面の「延命地蔵尊」、本堂内両脇に四体の計十一体。すべての地蔵菩薩は、華美な格好をせず、まるで修行僧のような出で立ちで、各々「錫杖・蓮華・宝珠・数珠」などを手に持っています。

平成十三年建立山門内「六地蔵尊」

地蔵菩薩は、「地」の「蔵」ですから、大地を中心に見守って下さる菩薩です。遠くシルクロードを徒歩で移動することが主要な交通網であった時代、旅人は旅の安全を願い、菩薩様を道すがら御参りしたようで、こうした旅人の信仰からできたのが地蔵菩薩であると二説には言われています。

地蔵菩薩の利益は多く、種々の病苦の身代わり、子宝・子育て、延命長寿、成仏、厄除け等々、人間が生きている間に望むものほとんどを利益として授けて下さいます。こうしたことから、地蔵菩薩の装飾のない服装は、この世に生きとし生けるものを救う為、六道（天人・人間・修羅・畜生・餓鬼・地獄）という迷いの世界を走り回るためのものだとされています。着物の袂を掴んで、錫杖をかついで走っているお地蔵様を想像すると、ちょっと微笑ましいですよね。

ちなみに、この六道世界をそれぞれ救いに行く時の御姿が、六地蔵として現わされています。六人いらっしゃるわけではなくて、変化してその場にあった姿で行かれるんですね。姿を変えるという意味では、実は冥界の王「閻魔王」も地蔵菩薩の化身とされています。化身である閻魔王として生前の行いによる裁判を行い、六道に落ちてしまっても地蔵菩薩が救済して下さるのですから、なんと慈悲深いことか。そんなお慈悲に恥じぬよう、日々の行いを正すようにと教えてくださっているのもまたお地蔵様なんですね。

柏心寺では、毎年八月の終わりに、地蔵盆という行事を行っています。これは、関西方面では町内単位で行われる行事で、子育て地蔵や子守地蔵の縁日として開かれ、集まった子供達と遊んだり、御菓子が振る舞われたりしています。

柏心寺を会場に
長野県内浄土宗寺院

「長野教区寺庭婦人会総会」開催

雨に洗われ木々の緑が色鮮やかな五月二十四日、当山を会所に長野教区内の浄土宗寺院お大黒様方が来寺。

県下各地より85名の参加。総会後は、飯田在住「薩摩琵琶」演奏家宮下洌先生の平家物語三大代表作「俊寛」を拝聴。琵琶弾き語りに心の耳を洗いました。

午後は松川大島在住の鋤柄郁夫先生による「おかげさん～生かされて生きる幸せ」のテーマで講演をいただきました。先生は学校教育一筋。退職後、老若男女が抱かえる「甘えの構造」から生じる諸問題に、警鐘を鳴らし、「如何ですか」「お蔭さん」を家庭教育の原点に。正に寺庭婦人が中心に取り組んでいるテーマと受け止め和やかに閉会いたしました。

熱心に聞きいる寺庭婦人

江戸中期造立地蔵尊

地蔵菩薩の宗派を超えた信仰の理由は、もっとも身近なところで見守ってくださっているという親近感だと思われます。お寺や街角に立っているお地蔵様がいたら、足を止めて「有難うございます。これからも見守って下さい」と手を合わせてみてはいかがでしょうか。

副住職　聲誉

お十夜法要 お絵解き極楽絵図「観経曼荼羅」

絹本『本表装』御寄進

通町大横角　佐市殿

小林先生による絵解き

昨年十一月十四日お十夜法要において当山秘蔵什物「観経曼荼羅」絵図のお絵解きを厳修。

柏心寺創建に当たり、元禄時代に京都黒谷金戒光明寺より授かった絵図。四一〇年を経て初めての表装修復をした折、下絵図として絹本版刷原本が出現。

この絹本「本表装」を、このたび通町大横町の角佐市殿より篤信寄進賜り、秘蔵什物としてご本尊阿弥陀如来様にご奉納させていただきました。お檀家各家に収めさせていただいた営繕事業記念品「絹本縮刷曼荼羅絵図」がこの什物です。

絹本版刷原本曼陀羅図

婦人会だより

◆新年度総会五月十八日開催◆ 映画「おとうと」視聴

ご本尊様に会員物故者のご回向を勤め、住職様より「葬儀の心得」についてご法話を頂きました。総会では、事業会計報告を承認。本年は「五重相伝開筵」に向け協力することを申し合わせました。午後は昭和三十五年作・岸恵子主演「おとうと」視聴。参加者心打たれ感動。

住職様のご指導のもと「只一向に念仏すべし」をモットーに活動を続けて来た婦人会。阿弥陀様のお慈悲にすがり、より一層活発な会になるよう取り組んで参ります。副住職の奥様にもご参加頂き、檀信徒全ての婦人が会員であると認識致しながら、「共生（ともいき）」念仏の中に生かされることをお誓い致しましょう。

ガールスカウトだより

「花まつり」と奉仕活動

五月五日ガールスカウト活動として《花まつり》を行いました。持ち寄った様々な生花で花御堂を飾りお釈迦様の生誕をお祝いしました。

また、五月二十三日には「書き損じハガキ」を持ち寄り、箕輪町においてボランティア活動の大会に参加。友情の絆に思いを寄せて、他地区のスカウトと交流。保護者も活動のお陰で子供達が活発な行動が取れるようになり、指導者の皆様に感謝の日々です。やはり、宗教情操教育の必要性を実感しています。

甘茶をかけるガールスカウト達

◆双盤念仏◆

仏教打楽器「双盤」御寄進

県下山　木下博文　殿
箕瀬二　北澤章・幸子　殿

「双盤念仏」は、声明（しょうみょう）から発達した引声（いんぜい）念仏（ねんぶつ）の一種であり、京都真如堂の十夜念仏が起源。鎌倉光明寺を中心に発達。浄土宗の寺院の法要の中で「鉦講（かねこう）」と称する団体がこの楽器を打ち鳴らし念仏を唱え上げる。

柏心寺住職を中心に各法要並びにご法事においてご使用させて頂きます。阿弥陀如来様に貴重なご寄進ご奉納感謝申し上げます。

仏教打楽器「双盤」

志納金入金状況報告

1 志納者数…… 718名
2 志納額…… 3億9049万円
3 入金済額…… 3億7101万円 95%
4 差引入金予定額……1948万円 5%

今後の支出等

1 借入金残高 1200万円（8000万円−6800万円）
2 今後の支出
- i 借入金返済
- ii 借入金利息
- iii 志納金表示板
- iv その他諸経費

平成23年3月末にて営繕会計の決算予定です

平成22年3月31日現在　財務委員長　宮下 宏・委員一同

第十回目 本年中月 営繕記念事業寄付金 納入期迫る!! よろしくお願い致します

維持会だより ◆平成21年度 収支決算報告◆

去る4月29日新年度総会に於いて収支決算報告書が承認されました。ここに報告申し上げます。

科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
【収入の部】			【支出の部】		
宗教活動収入	6,700,000	6,271,000	宗教活動支出	7,340,000	4,669,617
会費収入	5,500,000	5,261,000	宗教活動費	2,690,000	1,988,490
寄付金収入	1,200,000	1,010,000	管理費	4,650,000	2,681,127
資産管理収入	5,000	2,327	繰入金支出	3,000,000	3,000,000
雑収入			当年度支出合計(C)	10,343,323	7,669,617
当年度収入合計(A)	6,705,000	6,273,327	当年度収支差額(A)−(C)	△3,638,323	△1,396,290
前年度繰越収支差額	3,638,323	3,638,323	次年度繰越収支差(B)−(C)	0	2,242,033
収入合計(B)	10,343,323	9,911,650			

（単位:円）